

守山市に求められる中間支援機能一覧表

資料 1 R5.7.6 中間支援組織あり方研究会

中間支援の機能	既存事業名等	現状	課題・改善点	今後求められるもの・ありたい姿	参考となる他団体の 中間支援の事業・内容
相談・助言機能	-	-	相談を受ける側との関係性がない 窓口とわからない 体制不足 相談件数が把握できていない	相談の受け手側との継続した関係 安心感 何か情報が得られる	相談票の作成 伴走型支援 つながりやすい（安定した）相談体制の確立
マッチング機能	・マッチングリスト ・さんさんフェスタ	一定の団体の登録数がある	団体同士の関係が希薄 つながる機会がない 新規登録数が少ない	他団体との交流の機会	ニーズに応じたイベント開催
助成金機能	・市民提案型まちづくり支援事業 1)チャレンジ応援事業（3万,10団体） 2)地域貢献事業（15万,10団体） 3)自立事業化前提型事業(50万,1団体） ・ふるさと納税を活用した「豊かな市民活動のまち応援事業」	相談をするきっかけとなる 中間発表(パネル展示)がある フォーラムでの活動発表がある 助成団体が多い	助成金をもらったら関係性が切れる 活動や課題を共有する場がない 活動報告書がない	助成金をきっかけに継続した支援の仕組み 報告書をつくり他団体の情報を共有する	助成金の出し方の工夫（伴走型支援） 報告書の作成
人材育成機能	・フォーラム ・ファシリテーター養成講座 ・まちサポセミナー		参加者が少ない 担い手の高齢化（地域）	団体を育てる ともに学ぶ	伴走型支援 地域の人材発掘
拠点機能 （市民交流センター）	・市民交流センター 市民活動スペース（無料） 文化活動スペース（有料）	活動の場がある 作業の場がある	体制が不十分 名称を変更してアピール 貸館業務	キャッチポイントを作る ふらっと立ち寄れる場所	施設管理（指定管理）のノウハウ
情報収集・発信機能	・もりマッチの作成 ・ホームページ発信		広報紙がない ホームページが分かりにくい	広報紙の発行	草津コミュニティ事業団広報「コミュニティくさつ」

● 伴 走 型 支 援

中間支援組織のイメージ

また来たい・気軽に立ち寄れる
地域密着・寄り添った支援